

USNET

2022
SUMMER

No.
65



USNET FEATURE
“共助”が生む新しいまち
シェアリングシティ



USNET FEATURE



CONTENTS USNET アスネット 2022 SUMMER No.65

- 3 USNET FEATURE
“共助”が生む新しいまち
シェアリングシティー
- 8 WORKS フジテックの納入事例 [本町サンケイビル]
- 10 PICK UP 涼を感じるエレベータ
～エレベータ専用クーラーでより快適な移動空間を～
- 12 ニューノーマルな働き方
スノーピークビジネスソリューションズ [キャンピングオフィス]
- 13 仕事に効く！ 私のおすすめBOOK & MOVIE
[フジテック・コリア編]
- 14 ご当地の名品名所 [愛知県]
- 16 エレベータ エスカレータ探訪 [μPLAT(ミュープラット)神宮前]

“共助”が生む新しいまち シェアリングシティー

2000年代後半、所有への人々の意識の変化やインターネットの発展などによって、人々や企業が資産を貸し借りする新しい経済モデル「シェアリングエコノミー」が広がりました。

この“資産”には、モノや場所はもちろん、スキルやお金など、有形・無形を問わず、ありとあらゆるものが含まれます。

そして現在、シェアリングエコノミーの市場規模は急激に拡大。シェアサービスによって地域課題の解決を目指す「シェアリングシティー」という考え方に注目が集まっています。

シェアリングシティーとは一体どのようなものなのか、そして、シェアリングシティーの実現がもたらす地域社会への大きな恩恵とは何か、具体的なまちづくりの取り組みを通じて紹介します。



FROM FUJITEC

「USNET」とは

「USNET」(アスネット)は、お客さまとフジテックがUS(私たち)となって結ばれ、明日のより美しい都市機能を、共に目指していくためのコミュニケーション誌です。



カバーは、都市に暮らす人々の様子や季節の移り変わりを豊かな色彩のイラストで表現。爽やかに晴れた海に見える港街は、生き生きと働く人やデートを楽しむ人でにぎわいます。次はここで何をしようかな。

COVER
Illustration:
Takashi Kawakami

バックナンバーも
読んでみてね！



フジテック“安全・安心”の
シンボル「テッキー」

“シェア”で広がる暮らしやすいまち

近年、シェアサービスを活用した地域活性化に注目が集まっています。シェアで生まれる新たなまちづくりの形とは一体どのようなものなのか、その具体例を見てみましょう。

持続可能なまちをつくる、さまざまな資産の共有

「場所」のシェア

人が集まり、まちが活性化



- ☑ 空き家を活用した「民泊」
- ☑ 空きスペースを活用した「会議室のシェアサービス」

「移動」のシェア

交通インフラが充実



- ☑ 自動車を活用した「カーシェア」
- ☑ 同じ目的地に向かう人との「ライドシェア(相乗り)サービス」
- ☑ どこでも気軽に移動できる「シェアサイクル」

場所、スキルなど、人々が持つさまざまな資産を共有することで、サステナブルで暮らしやすいまちの実現を目指すシェアリングシティ。その可能性は無限に広がっています。

「スキル」のシェア

新たな雇用を創出



- ☑ 子育てを終えた世代が育児をサポートする「育児代行サービス」
- ☑ 外国人や外国語が堪能な地域住人が行う「観光地案内サービス」

「情報」のシェア

助け合いを促進



- ☑ 地域住人の交流や自治体の情報発信を行う「地域見守りアプリ」
- ☑ 誰でも簡単に国や都市、地域の情報が取得できる「情報のオープン化」

「モノ」のシェア

資源を有効活用



- ☑ いらなくなったものをデジタルプラットフォームを介して共有する「フリマアプリ」
- ☑ 余った食材を有効活用する「フードシェア」

新しい経済モデルを活用したまちづくり



地域共生事業部長 兼
シェアリングシティ推進協議会事務局長

鏡 晋吾氏

一般社団法人シェアリングエコノミー協会地域共生事業部長。2002年に森ビル株式会社に入社し、マーケティング、建築設計、企業広報を担当する。2021年には「デルクイ総合研究所」を立ち上げ、全国の地域活性に取り組む。

地域課題の解決に活用される シェアリングエコノミー

場所、もの、スキルなどを共有するシェアリングエコノミーは、2000年代後半にアメリカ西海岸のシリコンバレーで始まりました。そして現在、世の中にはAirbnbやメルカリなど、さまざまなシェアサービスが普及。2021年度の日本国内での市場規模は2兆4,198億円、2030年度には14兆2,799億円に上ると予測されています^{※1}。こうしたシェアサービスの活用で防災や観光、SDGsといった地域課題の解決に取り組む、い

わば公助を共助で補完するまちこそが、「シェアリングシティ」です。

シェアリングシティの可能性は幅広く、例えば、民泊サービスの活用によって空き家問題の解決やまちの関係人口増加を実現した事例、まちに電動キックボードのようなマイクロモビリティを導入することで観光客の増加や移動インフラ充実を実現した事例など、地域や自治体に大きなメリットをもたらしている事例は数多くあります。また海外では、ソウル（韓国）とアムステルダム（オランダ）で豊富な実績があり、シェアリングエコノミーがまちに根付いた特徴的な都

市として注目を集めています。

サービスを取り巻く環境を整備し さらなる普及を目指す

私が事務局長を務めるシェアリングシティ推進協議会には、現在約90の地方自治体が加入しており、シェアリングシティの考え方は徐々に浸透してきています。また内閣官房と共同で行った、地域課題の解決にシェアリングエコノミーを活用した事例を集める「シェア・ニッポン100」でも、全国115地域・135事例が集まる^{※2}など、その取り組みは拡大傾向にあると言えるでしょう。

一方で地方自治体の中にはシェアリングシティに共感はあるものの、具体的な活用方法が分からず動き出せていない、といった声もあります。そうした声にこたえるため、2022年3月には、自治体での具体的な活用事例を示した「シェアリングエコノミー活用ハンドブック」^{※3}を制作・公開しました。

現在はシェアリングサービスをより安全に利用できる環境整備に向け、国際規格の開発も進めています。法整備や事業者の認定制度など、コンプライアンス環境をつくりながら、シェアリングシティを推進していきたいです。



詳しく
読みたい方は
こちら



「シェアリングエコノミー関連調査 2021年度調査結果（市場規模、経済波及効果）」より
（株式会社 情報通信総合研究所 2022年1月18日）

※1 シェアリングエコノミー関連調査 2021年度調査結果（市場規模、経済波及効果）より
※2 2021年3月時点のデータに基づく。

※3 ハンドブックではシェアサービスの具体的な活用事例を紹介。サービス概要や特徴などを詳しく知ることができます。

進む、シェアリングシティへの動き

さまざまな資産の活用によって持続可能なまちを目指す取り組みは、国内でも多くの自治体で進められています。ハードとソフト、それぞれの資産を活用した取り組みの事例を見ていきましょう。

CASE 1 NTT docomo

▶▶ bike share service

シェアサイクルで 新たな交通インフラを

シェアサイクルは、サービスエリア内のサイクルポート（駐輪場）を拠点に、どこでも自由に自転車の貸し借りができるサービスです。NTTドコモの「bike share service」は、自社の情報資産を活用し、2014年に本格運用されました。その後、徐々にエリアを拡大し、現在では首都圏を中心とした39の自治体で展開。自転車数16,400台、サイクルポート2,190か所、利用者数133万人、年間利用回数1,540万回を記録しています。シェアサイクルの導入は、利用者にとって電車や車に替わる新たな交通手段になるほか、駐輪場のひっ迫や放置自転車の軽減など、さまざまなメリットがあります。電源が不要なサイクルポートは、有事の臨時設置も可能。実際に避難所に設置され、物資の運送に活用された例もあります。現在は適切な自転車数の配置作業や新たなサイクルポートの開拓が行われており、その利便性は日々向上。ゆくゆくは二次交通インフラとしての地位を確立し、日本のまちづくりへのさらなる貢献が期待されます。



CASE 2 静岡県西伊豆町

▶▶ Sketterの連携

スキルのシェアで 地域の福祉を活性化

介護福祉領域への関係人口増加を目的に、介護サービス事業者と有償ボランティアの希望者をつなぐマッチングサイトとして、2019年にスタートした「Sketter（スケッター）」。介護福祉の資格や経験がない方でも福祉に関わることができる点が特徴です。現在およそ3,000人の登録者のうち7割近くが異業種の出身で、自分の得意なことや隙間時間を生かしてボランティアに参加しています。中でも20～30代の登録者が多く、「関心はあるけど、関わるきっかけや手段がなかった」という層を引き付けており、事業者側にとっても、採用コストの削減やミスマッチの減少、異なる領域からの新たな介護人材の発掘など、確かな実績を上げています。

2022年4月からは、町の高齢化を課題としていた静岡県西伊豆町との連携を開始。「一億総福祉人」という新しい福祉インフラの構築を目指し、町民同士で助け合える互助インフラのモデルケースを作ることで、全国の自治体への横展開も計画しています。

bike share service の特徴

POINT 1

有事も柔軟に対応できる



広島市の避難所への臨時設置に加え、大阪や千葉での地震発生時には、延長料金を無料とする支援措置を実施するなど、広域災害時も臨機応変に対応できる。

POINT 2

どこでも借りて返せる



サイクルポート間での相互乗り入れができるため、利便性が非常に高い。一部地域では自治体をまたぐ返却も可能になるなど、利便性が向上している。

POINT 3

公有地や公開空地の活用にも期待



自治体の持つ公有地や、ビルやマンションの敷内に設けられた公開空地にサイクルポートを設置することで、二次交通インフラとして、まちの人々の移動手段を増やすことが期待される。

自治体への Sketter 導入のメリット

POINT 1

人手不足解消



散歩の同伴や介護施設のシーツ交換など、身体介護[※]以外の介護業務を細分化することで、経験や資格がない人でも働ける。さらに学校との連携による高校生や大学生の活用で、地域介護の関係人口増加も期待。

※食事や入浴、排せつなど、要介護者の身体に直接触れて行う介護のこと。

POINT 2

福祉における広報の削減



Sketterでは、体験者によるクチコミやレポートを掲載。これらが広報の役割を果たすため、費用や手間を削減できる。また、現場の様子を詳しく伝えられることから、新たな介護人材の発掘にも効果を発揮。

フジテックの納入事例

時代と共に変わり続ける街の風景。フジテックの商品はニーズや場所に合わせたさまざまな姿で、人々の快適な移動に貢献しています。

そのほかの納入実績は
フジテックのコーポレートサイトを
ご覧ください。



本町サンケイビル

[大阪]

非接触をテーマに掲げた新時代のオフィスビル 「エアータップ」搭載エレベータを導入

大阪のメインストリート御堂筋と地下鉄3路線が交差する本町。大阪を代表するこのオフィス街に誕生したのが「本町サンケイビル」です。同ビルにはフジテックのエレベータ9台を納入し、地上21階、地下1階を結んでいます。エレベータには、手をかざすだけで操作できる「エアータップ」を搭載。感染症対策が基本性能として求められる、新たな時代の“安全・安心”なオフィス環境づくりに貢献しています。

OUTLINE

施主：株式会社サンケイビル
設計・監理：株式会社竹中工務店
建築・施工：株式会社竹中工務店
竣工：2021年8月



SPEC

設置台数：エレベータ9台

エレベータ意匠

乗場枠、ドア：ステンレスパイプレーション（指紋防止コーティングファインガード3）

幕板：ガラス（建築工事）※1階

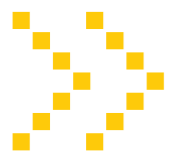
かご側壁、ドア：ステンレスパイプレーション（指紋防止コーティングファインガード3）

天井：ガラスクロス（EX-01）

手すり：木製手すり

昇降路内塗色：日塗工N-45（P-30 艶消し）





涼を感じるエレベータ

～エレベータ専用クーラーでより快適な移動空間を～

人々の需要の変化や多様化に伴い、エレベータは“安全・安心”に移動するための乗り物から、より快適で心地の良い空間へ進化が求められるようになりました。そうした期待に応えるのが、エレベータ専用クーラーを標準装備した標準型エレベータ「エクシオール」です。



エレベータ専用クーラーとプラズマクラスターイオン発生装置「イオンフル」の総称を「エアクレア」と名付けました。詳しくはこちらから



業界初！「エクシオール」にクーラーを標準装備



- 1 リビオレゾン横濱関内に納入されたエレベータ
- 2 クーラーの標準装備で、移動空間をより快適に過ごせる

リビオレゾン横濱関内（神奈川県横浜市）エレベータを、心安らぐ空間に

近年の社会環境の大きな変化に伴い、マンション開発においては、在宅ワークに限らない「おうち時間」の充実や、マンションから実行できるSDGsへの貢献に関心が集まっています。日鉄興和不動産では、多様化するライフスタイルの調査・研究を通じた徹底した顧客目線で、その街・その土地の特徴に合った、最適な住まいをご提案しています。今回フジテックのエレベータ「エクシオール」を導入したリビオレゾン横濱関内は、単身者やDINKS[※]をターゲットとした都市型コンパクトレジデンスです。

各戸専用の宅配ロッカーや無人ストアなど、利便性や快適性を追求した、最新の設備機器を採用しています。エレベータ専用クーラーは社会変化にいち早く対応し、これからの顧客ニーズにマッチしていくと感じたため、非接触ボタン「エアータップ」と合わせて採用いたしました。マンションにお住まいの方にとって、エレベータはどうしても混雑しやすい空間です。従来よりも公衆衛生意識が高まる中で、そのような不安を解消できる点が非常に魅力的でした。エレベータにクーラーが搭載されることで暑い季節も快適に過ごすことができ、日常生活にて、オンとオフの切り替えをできるような空間になればうれしいです。



日鉄興和不動産株式会社 住宅事業本部 再開発推進部 再開発推進第二グループ 兼 リビオライフデザイン総研室
八代 康佑 様



リビオレゾン横濱関内
[所在地] 神奈川県横浜市中区翁町2-7-5
[階数] 地上11階建て

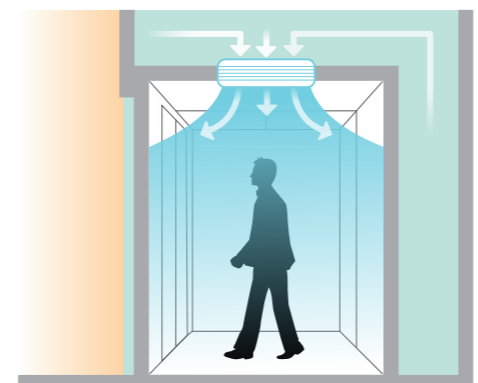
※ Double Income No Kidsの略で、意図的に子どもを持たない、共働きの夫婦のこと。

新時代のスタンダードなエレベータ

年々増加する猛暑日。厳しさを増す日本の夏に、建物内の空調は極めて重要な設備です。事実、当社が新規設置するエレベータのクーラー搭載率は、年々増加。エレベータに欲しい機能に関する調査でも、クーラーは上位に位置しています。一方で、エレベータへのクーラーの設置は、建物の設計条件やコスト面から採用のハードルが高いものでした。そこでフジテックでは、空調メーカーと共同でエレベータ専用のコンパクト

クーラーを開発。軽量、省スペース化に成功したことで、エレベータにクーラーを設置しやすくなりました。さらに業界で初めてエレベータ専用クーラーを標準装備とし、より多くの利用者に快適な移動空間を提供できるようになりました。フジテックは、これからもエレベータ専業メーカーとしてお客さまの潜在ニーズを捉え、従来のスタンダードを超えていきます。

エレベータ専用クーラーの仕組み



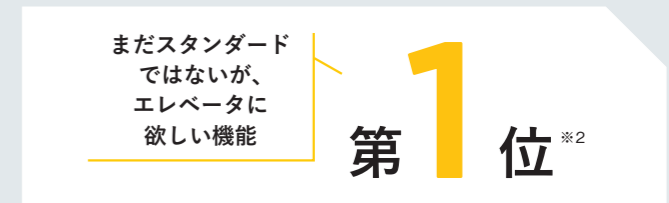
エレベータのかご天井裏にクーラーを設置。空気を外部（昇降路内）から取り込む「外気導入方式」で、換気を行いながら空気を冷やします。
※ 外気導入方式は積載1000kg以下のかごが対象

数字で見る！エレベータにクーラーが必要な理由

ますます需要が高まるエレベータ専用クーラー。その理由を数字でご紹介します。



新規で設置される「エクシオール」のクーラー搭載率は、約4.1倍に増加。猛暑を記録する日が年々増加しているからこそ、クーラーの需要も高まっています。
※1 当社調べ（従来商品での実績、2014年度と2018年度の比較）



当社独自のアンケート調査の結果、安全装置や監視カメラといったすでにスタンダードな機能を除くと、クーラーはエレベータに欲しい機能の第1位を獲得しています。
※2 エレベータ調査報告書「エレベータに欲しい機能」（2019）より
調査主体：フジテック株式会社 調査実施：株式会社イード

[Vol. 06]

スノーピークビジネスソリューションズ 「キャンピングオフィス」



キャンプの魅力を取り入れて オフィスに開放感を

川のせせらぎや鳥の声をBGMに、テントの中でミーティング、休憩時間はたき火を囲んでリラックス……。アウトドア用品メーカーのスノーピークグループが展開する「キャンピングオフィス」は、2016年の創業以来、500社以上が利用する人気のサービスです。一般的なオフィス家具よりもコストを抑えられ、移動や組み立てがしやすいアウトドア製品を利用して、いつものオフィスをまるでキャンプ場のように手軽にアレンジした

り、チームビルディングを目的としたアウトドア研修を行ったりするのが好評だそう。サービスの狙いは、自然を身近に感じることでストレスを軽減し、仕事にも人間関係にも良い効果を生み出すこと。実際に体験・導入したユーザーからも「打ち合わせがいつもより盛り上がる」「社員同士の会話が增える」など、メリットを感じる声が多く、従来のオフィスにはない開放感が、働く人の意識や働き方に変化を生み出しています。



株式会社スノーピークビジネスソリューションズ
【事業】組織及び地域活性化のための各種研修事業・各種ツール、アプリ、システムの開発
および導入支援・コンサルティング事業 【従業員数】49名(2021年5月現在)

KOREA

世界で活躍するフジテックパーソンに聞きました

フジテック・コリア



フジテック・コリア
管理部課長
チェジョンヨン
崔 珍英

BOOK



夢をかなえるゾウ

著者/水野 敬也
発行/文響社

インドの神を自称し、関西弁を駆使する不思議なゾウ、ガネーシャ。平凡な毎日を生きる主人公に、さまざまな課題やアドバイスを与えます。「本気で変わると思ったら、意識やのうて『具体的な何か』を変えなあかん」。ガネーシャのこの言葉から、自分を変える力や人生を成功させる近道は、考えるだけでなく、小さなことでもまずは具体的に行動することから生まれ、それは日常生活で実践できる簡単な行動でよいのだと学びました。

この作品は、単調な日常に変化を求めながらも、まず何をすればよいか悩んでいる方におすすめです。



フジテック・コリア
製作所長補佐
栗原 俊介

MOVIE



カラマリ・ユニオン

監督/アキ・カウリスマキ
出演者/マッティ・ペロンパー、
サッゲ・ヤルベンパー 他

主人公は「カラマリ・ユニオン（イカ墨同盟）」のメンバーである15人の男たち。理想郷を求めて、住んでいる街から脱出を試みるコメディ映画です。彼らはなぜか全員「フランク」という名前で、全員サングラスを掛けています。初めのうちは個性がなく思える彼らですが、物語が進むにつれて、同じように見えても人にはそれぞれ異なる考え方・行動理念があることを強く感じました。
うまくいかないことや理不尽に対して、独り善がりにならずに相手の持つ考えを尊重した感じ方、捉え方が必要なことを意識させてくれる作品です。

仕事に効く！私のおすすめ

BOOK

&

MOVIE

Vol. 06

テーマ

暑い夏到来！
仕事の熱を高めたときに

エレベータ
エスカレータ

探訪

全国の納入先を巡る

Vol.06 [愛知・名古屋] μPLAT(ミュープラット)神宮前

お話を伺ったのは…… 名古屋鉄道株式会社 まちづくり推進部 吉鶴 芙美絵様



話題の複合施設に“除菌の安心”をプラス

「μ PLAT (ミュープラット) 神宮前」は名鉄神宮前駅直結の商住複合施設として、2021年7月に誕生しました。本施設は12階建てのうち、5階から上に賃貸マンション、4階までにスーパーマーケットや各種ショップ、レストラン、クリニックなどのテナントをそろえています。また大きな吹抜空間や、フードホール「μ's Kitchen」、屋上庭園「μ's Garden」など、誰もがくつろげる開放的な共用スペースがあるのも施設の魅力

です。

商業施設には、ハンドレールの除菌装置が備ったフジテックのエスカレータを導入しました。ハンドレールを常に清潔な状態に保てるので、施設を利用するお客さまの“安全・安心”の一助になるものと考えています。

2022年7月には、開業1周年記念イベントを実施する予定です。地域の皆さまにますます足繁く通っていただける施設を目指して頑張ります。

μ PLAT (ミュープラット) 神宮前

所在地 〒456-0032 愛知県名古屋市熱田区三本松町18-4

アクセス 名鉄名古屋駅から最短6分

中部国際空港駅から最短21分

昇降機設置台数 エレベータ2台 エスカレータ6台

公式サイト <https://www.myuplat-jingumae.com/>



フジテック株式会社

USNET [アスネット] 2022 SUMMER No.65 (2022年7月1日発行)

編集・発行/フジテック株式会社 東京本社 広報室

〒108-8307 東京都港区白金1丁目17番地3号 TEL.03-4330-8233 www.fujitec.co.jp

USNETのバックナンバーは
フジテックのコーポレートサイトから

